臺灣日日新報 第一萬三千七百十三號 A (一)
(第二版) (郵便物認可) 明治卅一年五月九日第三種郵便物認可 昭和十三年五月二十五日 (水曜日)
臺灣日日新報 夕刊
五月二十四日
夕刊定価一部二錢
臺北市表町二丁目一番地 臺灣日日新報社 佐々木 修
臺北市表町二丁目一番地 臺灣日日新報社 電話(三)五五五番
臺中市綠川町 臺中支局 電話(二)三〇番
臺南市錦町 臺南支局 電話(二)三〇番
大阪市西區新町四丁目 大阪支局 電話(土)三〇番
花蓮港街入船町 花蓮港支局 電話(二)三〇番
東京市芝區櫻田本郷町 東京支局 電話(三)三〇番

マツダ 眞空管

寺内、畑兩將軍 近く歷史的會見

戰勝の地・徐州で

【北京二十三日發同盟】今次徐州會戰に自ら前線に出動作戰指導に當りつつある寺内北支畑中支兩最高指揮官は南北兩軍共同作戰の精華として攻略した戰勝の地において近く歷史的會見を遂げ今後の指導方針に關し重要協議を遂げることとなつた（寫眞は右が寺内北支最高指揮官、左畑中支最高指揮官）

敗敵殆んど殲滅

徐州の東方と南方で

【上海二十三日發同盟】徐州東方及び南方地區の包圍作戰は我軍の果敢な攻擊に依つて急速に進展し、徐州より東南に敵を追つて進擊した○○部隊は二十三日朝擊より南下し蘇浦線東側端より敵を徐河の線に壓迫しこれを殆んど殲滅し、一方津浦西側部隊に在る○○及び○○の兩部隊も開封店及び蔡固林附近で敵の退路を遮斷し北方より當陽來の敵殘と對峙してこれを殲滅しつつあり、永城方面に潛走せる小部隊を除けば徐州東方及び南方地區の敵殘は殆んど完全にその包圍を脫し大會戰は大體その目的を達成し今や完成の段階に近づきつつある

蘭封の敵は敗走

附近一帶も我手中に

【北京二十四日發同盟】租界當局發表――開封の一大會戰なる蘭封の敵は數日來わが軍の力攻、殲滅なる側背大迂廻により東北方及び西方に敗走した、今二十四日午前同地附近一帶はわが軍の手中に歸せり

隴海線を西へ進出

【北京二十四日發同盟】隴海線開封東方より敵と對峙してゐる那部隊は二十三日午後九時開封東方八對の地點まで進出敵の殘敵第八十八、第四十六兩師に壞滅的打擊を與へた、この戰鬪で敵の死傷二千と算せられる

津浦線は十日以內に全通

【徐州二十三日發同盟】木村兵團部隊の蚌埠殲滅作戰は蚌埠の南方で津浦北部は廿一日早くも殲滅、徐州附近の敵は二十二日早朝徐州と南部との連絡は完成し、一方浦口より北上する鐵道部隊との連絡に依る津浦の津浦線全通はあと十日內外と見らるるに至つた

徐州攻略畫報 【寫眞上は覇王山から徐州攻擊の○○機關銃隊、下は攻略後の徐州市街】（陸軍省許可濟）

海の荒鷲 連日爆擊

各方面に出動

【上海二十四日發同盟】陸軍報道部發表 昨二十三日海軍航空隊は左記の

政友會黨情の推移

漸く重大化の虞れ

總裁決定問題を繞つて

【東京二十四日發同盟】二十三日、政友會の代行委員會を總裁として政友會の總裁推定問題は黨員總意の形勢となつたが、開會打開の總裁推薦は代行委員は多分二十八日頃同問題解決のため代行委員會を開催することとなる模樣で、第四部が就つてゐる總裁として注目される、而して代行委員會の意向として前田、中島兩氏は總裁を決定することとより四分五裂狀態にあり總裁の候補を第一義的として考慮してゐる模樣で、その結果前總主義に依る總裁決定を固執し黨代議士の態度に對して總裁の候補者を擁立した上更に內閣の推薦、組閣の順序を踏襲したい意向と見られる、之に對し鳩山氏は政黨は黨外內閣問題の落着が前提條件だの說を固執して

比島の經濟的獨立

一九六〇年迄延期

協同調査委員會で報告採擇

【ニューヨーク二十二日發本社特電】現行獨立法に從つて一九四一年から英國への輸出品に對して緊進的輸出稅を課す事になればフィリッピンは經濟的破綻を來す事になるが、之が對策として獨立法の修正運動を起し比島の經濟的獨立を一九六〇年迄延期しようと云ふ點に大統領とケソン比島大統領との間に諒解が成立したが此の問題に關してその後約一年間調査研究中であつた米比協同調査委員會は二十日比島の經濟的獨立を一九六〇年迄延期する事を骨子とした報告を發表した、右報告書を

顧問引揚げ 嚴正中立のため

駐支ドイツ大使談

【上海二十二日發同盟】獨ロ不可侵に依りヒトラー總統が國民政府ドイツ人顧問團に對する引揚命令を發したのに關し駐支ドイツ大使トラウトマン氏は二十三日外人記者に對し右の事實を確認した左の如く語つた

ドイツが獨ソ人の國民政府顧問團を引揚げしむることに決定したのはドイツが嚴正中立の態度を堅持するが爲に外ならない、これらの國團が何時立つかといふやうなことに關しては未だ詳細に決つたといふ事は聞いて居ない

國境橋梁の爆破を圖る

チエツコ兵が

【ベルリン二十三日發同盟】ドイツ、チエツコ兩國關係が緊張してゐる折柄チエツコ兵士のドイツ、チエツコ國境橋梁爆破未遂事件が傳へられセンセーションを卷起してゐる、去る二十一日午前零時ほぼ同一時十分に至る頃獨逸ベルンハルツタールよりチエツコ領モラヴイアに至るタヤ河木橋上において優良爆藥を布設し居る十名のチエツコ兵をドイツ國境警備兵が發見したがチエツコ兵は直ちに逃走したが、殘つた優良爆藥に點火し導火線があつたがドイツ兵の勇敢の爲點に消滅したがドイツ兵の勇敢に依り爆破を未然に防止することが出來たといふ

チエツコ外相陳謝

【プラハ二十三日發同盟】チエツコ外相クロフタ博士は二十三日午前チエツコ、ドイツ公使アイセンロール博士の來訪を求め去る二十一日ドイツ、チエツコ國境タヤ河における優良爆藥事件に關するチエツコ兵士の不法越境事件につき其の事情を說明して正式に陳謝の意を表した

ドイツ政府 一先づ安心

選擧の大勝利に

【プラハ二十三日發同盟】チエツコの運命を決すべき市町村會第二國選擧は全國三千五百餘の市町村中先づ二百九十箇所で擧行された外現在まで判明した四百卅四の選擧結果に依れば、スーデテン・ドイツ黨の進出著しく既に四百六名の當選者を出してゐるのに反し反ナチス主義のドイツ人社會民主黨は千九百二十一年選擧の議席百十七比し今回は僅に四十名を得たに過ぎず、チエツコ國內ドイツ民族の動向を示唆するものとして注目されてゐる、因に市町村會選擧は五月二十八日、六月五日の兩日に亙つて擧行される筈である

對立は益々尖銳化

選擧は平穩に濟んでも

【プラハ二十三日發同盟】二十二日實施されたチエツコにおける市町村選擧は表面的には穩和に反して全極端對立に終つたがその結果はドイツ人とチエツコ人との對立を益々尖銳化する形となり少數民族を壓迫するチエツコ前內閣閣僚の大勝利に過ぎないとの意見を表するものもあり、殊にチエツコ政府が如何なる態度に出づるかを注視してゐる、ドイツ政府はヘンライン氏のいはゆる八箇條要求がチエツコ政府により容れられば兎も角現在ではドイツ側にも云ふべきチエツコ政府にはかかる態度に出づるを希望してゐる、スーデテン地方に國境警備隊が傳へられてゐるがドイツ政府よりチエツコ領モラヴイアに至るタヤ河木橋上において優良爆藥を布設し居る十名のチエツコ兵をドイツ國境警備兵が發見したがチエツコ兵は直ちに逃走したが、殘つた優良爆藥に點火し導火線があつたがドイツ兵の勇敢の爲點に消滅したがドイツ兵の勇敢に依り爆破を未然に防止することが出來たといふ

チエツコ外相陳謝

【プラハ二十三日發同盟】チエツコ外相クロフタ博士は二十三日午前チエツコ、ドイツ公使アイセンロール博士の來訪を求め去る二十一日ドイツ、チエツコ國境タヤ河における優良爆藥事件に關するチエツコ兵士の不法越境事件につき其の事情を說明して正式に陳謝の意を表した

國境橋梁の爆破を圖る

チエツコ兵が

【ベルリン二十三日發同盟】ドイツ、チエツコ兩國關係が緊張してゐる折柄チエツコ兵士のドイツ、チエツコ國境警備隊未遂事件が傳へられセンセーションを卷起してゐる、去る二十一日午前零時ほぼ同一時十分に至る頃獨逸ベルンハルツタールよ

四川からの徴發兵 雜軍整理の好餌
兵力は三分の一に激減

暴殺された劉湘

【南京二十三日發同盟】非戰區島下の動物園動物は殆ど昨年の如く日本人慰安の爲二十八日から行はれるが本年は特に帝國陸海軍主催で六月一日を中心とする日として全國的な愛護運動を起すことになり東京市内では全市小學生が馬の飼生なる上に愛護組合を各名しこれら獸と緊密な連絡をヒトラー總統、ムッソリニ首相に贈る

國を擧げ〝愛馬〟運動
動物虐待國のデマ粉碎へ
六月一日を期して

1總統及びムッソリニ首相はともに動物愛護家として知られてゐるので動物愛護の實際的な運動として特に國民の注意を喚起することになつたものである

廈門の治安回復
業森の一家(下)皇威下に無心で遊ぶ雜民の子供

岡山特派員撮影

■總督府許可濟■

蕃社風景を撮影
聖林から米人技師來臺

【二十二日廈門島○○陸戰隊發表】東京よりの通信に依れば廈門島攻略の際パントに於て當時が支那兵掃蕩を企圖したりと云ふ報道が英國に傳はりたるも

古い病毒が血液を濁せば

愛兒へかくひ。。く

結婚は人生の幸福とか申しますが、その半面病毒の爲家庭悲劇を惹起してる例がいくらでもあります。卽ち病毒が完全に治り切らなかつたばかりに、自分自身の苦しみは云はずもがな、わけて何んの罪とがもない愛妻を早產、流產に終らしめ、幸ひに生れ落ちたとしても、不具や白痴であつたり、常軌を逸し、人を傷け、或は我家に放火する等あらゆる現世の悲慘事をさえ招く因果に泣かねばなりません。だから病毒の心當りある方は一日も早く血液を淸淨にして無毒にならなければ、永遠の家庭圓滿と子孫繁榮とは到底望めません

のぼせ、めまひ、吹出や

耳鳴り、肩凝りする人は

病毒 酒毒のふる血を取れ

血液は淸淨に病苦も薄らぎ

子孫への惡質遺傳を防ぐ

江戸桃花陣 (34)

海音寺潮五郎作
富永謙太郎畫

小梅の寮（六）

お見えになった、という手代の声に、羽佐間はあわてふためいて刀掛に走り出たが、おりんは脇一つ動かさない。煙草の煙を輪に吹いているのである。

「おりん、これお見えになったではないか、これ」

いらだって、羽佐間が呼びかけても、プンといやうな顔をしてまた一服ゆっくりとつめへて吸ってから、のっそりと立上って出て来て、

「羽根のないやうに、羽根のないやうに」

羽佐間はおろ〳〵しておりんに注意する。

「おわかってますよ」

おりんは相変らずつめたく言った。だが、いよ〳〵煩瑣がついて、その中から出て来た前次の介の顔を見ると、微な微笑がその位ひとりとしずんだ顔に走った。意外なものを見る——といった表情である。

「こう〳〵押しかけて来ましたに

顔次郎はいつもの人なつこい微笑で会釈する。羽佐間は顔をほころばせた。

「お待ちかねね申してをりました。存じうございます」

「羽佐間殿、武士の一言金鉄の如し。引受け申したからには、万に一つの間違はいたさぬ」

「流石に上つて、本多家は槍先から錆を吹き出すやうに形骸を飾り飲らしながら、那次介のあとから奴顔を上つたが、羽佐間の後ろに手をついてゐるおりんを見ると、

「これは〳〵、一国の采配振るうお表しいな。そなたがあまりお美しいので、この頃、羽佐間殿はお郷が好きでもそうな。ははははは——あ、もし、羽佐間殿、これが、先日来、くりかへし〳〵お話し申上げた高城藩の方様主、七名をおりんと仰せられる女人様髪、なんと勢やかなものでござう。嬉し江戸に二人とない美形と、たしか、聞は羽佐間殿申し上げて置いた記憶いたしてをるが、その言葉に万分の一の誇張もござるまいがの。ははははは」

「なるほど、聞せられた通りだ。惚々するやうな美しい女じゃ。羽佐間殿、おりんは縁を上げて本多を喰くやうなしなをして、やさしく顔次介をにらんで、ははははほと笑顔

寫眞術第一課 (下)

定着液の造り方から
減力・補力まで

バットに入れた酸液は、所々が出て仮黒になって来たなとおもったら、黒変して見る。まだ酸が若色い。もう一度である。酸第十五）を溶かして入れる。これが酸性定着である。

ここに定着液についてしるべくてはならない。定着液はバットに（ハイポ（硫酸曹達）を溶解（ハイポの大きさに依って目盛が異って来る）——そこで、大抵千立方尺の現像に対して、「ハイポ二百グラム銀の割でよかろう。これは戦ハイポ定着液であるが、これに更にヌケをよくし酸画部作を計るために次の方法が附加へられる。

◇明ばん（硫酸曹達）を大匙に一杯（三十五）を溶かして入れる。これが酸性定着である。

◇亜硫酸曹達（ソーダ）を大匙に一杯（三十五）を溶かして入れる。これが酸性定着である。

◇硼砂（硫酸曹達）を大匙に一杯（三十五）を溶かして入れる。これが酸性定着である。

◇酢酸（硫酸曹達）を大匙に一杯（三十五）を溶かして入れる。これが酸性定着である。

◇塩化アンモニア

臺灣日日新報
日本夕刊共十二頁
昭和十三年五月二十五日（水曜日）
第一万三千七百十三號

社說

國民は一段の緊張を要する
徐州の陷落と第三國關係

徐州の陷落が、抗日國民政府に與へつつある影響は、敵側觀測が必死の宣傳と、第二國第一部の作爲的觀測にも拘らず、隱る可からざるものあり、その內面に於ては動・共斃懈の傾向顯著ならんとしつつあり、又た外面に在つては支那民心の離反、第三國よりの不信感對日嫌惡も亦た大なるは想像に難くない。併しながら、ここに最も注意を要する點は、徐州陷落と第三國の關係であつて、第三國特に國府と日ま迄密接なる關係を持續して來た第三國に在つては、國より國民政府への對支援助の低減又は經濟的對支政策の變更に關する考慮を以つて直ちに自國の對支策を斷分析の結果に俟つべきものあり、その內面に於ては動・共斃懈の傾向顯著ならんとしつつあり、又た外面に在つては支那民心の離反、第三國よりの不信感對日嫌惡も亦た大なるは想像に難くない。併しながら、ここに最も注意を要する點は、徐州陷落と第三國の關係であつて、第三國特に國府と日ま迄密接なる關係を持續して來た第三國に在つては、國より國民政府への對支援助の低減又は經濟的對支政策の變更に關する考慮を以つて直ちに自國の對支策を斷じ去ることは勿論早計に過ぎるであらう、第三國に於ても、この種の第三國を利用する所大であつたであらうが、第三國に於ても、より以上にその利用を忘れなかつたのである。

二

國民政府と第三國との關係は、その大部が、右のやうな關係に出發したものであるから、國民政府の形勢非なりと見て、直ちにその本來の對支政策を根源的に變更するや否やは、我々國民の見なければならぬ。從來の出來かたからは、從來を國府

厦門の我海軍部隊
對岸・大陸に砲撃開始
空からは爆彈の雨

【厦門二十二日横地同盟特派員發】厦門攻略を完了して暫く鳴りを鎭めてゐた我が海軍陸戰隊部隊は二十二日再び砲火を開き對岸支那大陸に巨砲を浴せた、一方この日市內では曉より便衣隊並に不良分子を襲つて逮捕し攻略以來はじめての緊張した空氣を漂はしてゐた、午前八時半、殷々たる砲聲は久し振りに晴空を破つて島を揚がし大陸が砲陣地は官澤社東海岸突端より北に湖裡社、蓁上社並に北端高崎の四地點に巨砲を連ねてゐるが、これに加はつて熾んなる火蓋を切れば機銃陣も輕快なる響を立ててこれに和し對岸福建省の東坑、水頭、白塔をはじめ厦門島北端に臨む敵最重要陣地集美等敵陣地に對して地上砲火を浴せ、空からは海軍機が低空飛行を行つて急降下して爆彈を投下すれば火柱を上げて敵陣が粉碎する、艦艇からも巨砲を放つて猛快なる猛撃を加へて大陸を震撼、立體攻撃は對岸の敵を粉碎して同十時三十分一先づ大陸攻撃を打切つた

（厦門島と其の附近）

漢口防備の第一線
脆くも一角崩潰
蘭封城に日章旗飜る

【北京二十四日發同盟】我が猛撃に破れ去つた蘭封城内に據つた敵中支第一の精鋭八十八、四十七兩師を基幹とする敵大部隊は大打撃を蒙り潰走、蘭封城には一番乘りを果した我が部隊の手により日章旗が飜つた附近一帯は最早我が手中に歸した、蘭封は徐州の南方西方の關門に當り、徐州と共に漢口の首都防衛の防壁の一線を爲して居る、蘭封の陷落により徐州を失つた敵は最早や國境線に於けるその防衛線は全く潰滅したものと見てよい、敵は蘭封城に於てもその防衛線を固しのみならず蘭封の地に於てもその防衛線を固しのみならず蘭封の地に於てもその防衛線を固しのみならず蘭封の地

財界ブリーズ

北支投資公募に大藏省が難色

綿布綿糸を始め各種物資の輸入超過となり、北支の開発事業と中支の経済対策との関連合調も容易や時期の問題と為られて居るわが国の製鉄資源政策の強化さわぎならぬ事情にあり、それに関し既に四五の計画が進められて居るが、大藏省の一部には依然として反対論者の色あり、並に及び対満事業の一部として慎重せしめて居る

× × ×

支那側説の為めには、満鉄が国際的信用を有する為めに、満鉄が国際的信用を有する為めに、満鉄が国際的信用を有する為めに

改造 六月號

特價一圓　送料四錢五厘

東京市芝區新橋四丁目七〇番地　振替東京八二〇　改造社

日常雜貨に至るまで 典雅な傳統の美しさ

佛蘭西の工藝事情

商工省派遣員の報告（上）

本邦工藝品の輸出振興と國產の發展に資する爲め、商工省では昨年度から佛國巴里萬國博覽會參加を機會に、同國の工藝事情調査の爲め、技師木村ペルプ氏を派遣したが、同氏は一九二五年と對比する時「百尺竿頭一歩を進む」と呼んでも敢て言ひ過ぎではないといへいはれる位、佛國傳統の優美な藝術や、驚異な發展に驚つて來てゐる。

△

市内目抜の場所に高級な時代家具や什器を數つてゐる所謂古賣店は非常に多いこと、各アパートにも時代家具付貸の設備のある所市場經營會社が競爭して殆ど毎日百數十臺の貸家が競賣に出されてゐる事實、更に四圍に於ける家具屋の八〇%が時代家具の模倣で競爭を續つてゐるといふ話などから察へて、大に奢侈品製造にこと欠かぬ。グラン・バレーに開かれてゐる家具博覽會を見たが、現代家具による各種のモデルルームと昔と同樣の古代家具作品による十數個のモデルルームが、更に立派に飾りせられ非常な人氣を呼んでゐるのを見て、如何に佛國民人が古い時代の美しさに强い憧憬がそれを待つてゐるかといふことを知つた

英佛海峽に 自動車用隧道

英佛海峽に自動車用のトンネルを建設しようとの計畫が、アンドレ・バスデヴァンらのフランスのおよび一枚岩によつて支持され、その實現方法が過日フランソ・パリジャン紙上に發表された。その設計は、トンネルの起點から終點、保線に要する設備に至る迄詳細な點まで述べられ、總べての點に於て實現可能なものだが、その主要部分を摘記すれば次の通り

一、トンネルは英國側ではフオルクストン近傍で海中に潜入し佛國方面廿度の勾配で下降、地下約三百六十呎に至り再び二百九十四呎迄上昇、更に二度降下し

一、トンネル内の平均深度は佛氏四十四度と見られるが、これが最低深度の點である

一、三十二哩に亘る長いトンネルの壁を二色に塗るとドライヴアは佗を見ずに走れるが、トンネルの壁を赤と青の二色に塗ると赤と青の色彩どりどりの廣告が必ず目に入つて來る

一、トンネル内の空氣は一時間毎に全部入れ換へられる設備がある

一、工場の最大能力は一晝夜間で二千臺と見積られてゐる

一、トンネルを一通行するに要する時間は二十分で十分

一、トンネルの入口には關税事務所があり、こゝにはトンネルを一通行する人や貨物、乘物に關する一切の手續を終へるやうにしてある

一、トンネルの中央には非常用の通路があり、こゝには常に警官が巡回してゐる

一、トンネルの兩側には一定の間隔を置いて非常用の電話が設けられ、それと共に何千呎といふ間隔かで赤い警報燈が點滅する裝置がしてある

一、トンネル内の空氣は常に清淨に保たれ、煙草の煙や、牛や豚の糞尿等は直ちに吸ひ込まれて、瞬間に消滅してしまふ

一、トンネル内の照明は、晝夜共に變りなく、晝間は約一千万燭と發表されるがこの測定方法には疑問點があるので測定し、又維持費は通行料金を以て充當する

さて、そのあとで、ドイツ軍は傷兵を出來るだけ多く殺し、戰死者や生き殘りの兵隊を捕虜にしようと考へた。戰死者や捕虜を出來るだけ多くしようと考へたのである。戰死者や捕虜が多ければ多いほど、敵軍の士氣は沮喪するからである。

ドイツ軍は、この方法を實行するために、まづ、敵軍の退路を斷つ方法を考へた。敵軍の退路を斷つには、敵軍の後方に、敵軍の通過しようとする地點に、地雷を埋めておけばよいのである。

ドイツ軍は、この方法を實行するために、敵軍の後方に、敵軍の通過しようとする地點に、地雷を埋めておいたのである。

ドイツ軍は、この方法を實行するために、敵軍の後方に、敵軍の通過しようとする地點に、地雷を埋めておいたのである。

一噸の顯微鏡

顯微鏡の最も發達した時代は勿論その偉大なる發明者の出現した時代であつたのだが、世界で一番强力な顯微鏡がアメリカに據置されてゐる。その一噸の重量があり、非常に强力なので床の上の百噸位のものでも觀察することが出來る。實際の擴大率は二千五百倍位である。これは月を地球の二千五百倍に近づける新望遠鏡と同じやうな望遠鏡を作つた科學的なデヤイアントといへる。

ラヂオ・ナース

ラヂオ・ナースといふ名でアメリカでは澤山の看護用ソケットに嵌めることの出來る非常に敏感なマイクロフオンとラウドスピーカーが發表された。マイクロフオンを病人の枕邊の近くか病室の壁の適當の所にしておけばどんな微かな聲でも音響でもラウドスピーカアのおかれるところでは聽こえるのである。かうしておけば病人を病室にひかなくても一人きりにしておいて大丈夫なのである。

一科學小話

ドイツで發見證明されたセルロイドの代用品は無臭、不燃、耐アルカリ性、耐鹽性の優秀なものである。

アングイジョンの應用は戰爭の領域にまで進もうとしてゐる。戰爭機械、殊に潜水艇から戰艦の機關を破壞しようとする設備で作戰に必ず大の利器を發揮するであらうことは容易く察しないであらう。

オーストラリヤの兎の流行病の報告は遂に一八六〇年に遡る。あるが何處からか二十四匹の兎を持ちこんでビクトリヤ公園に寄附したのだが、そのうち何匹かが保護兎で、このために國民に災を與へること實に大なるものである。

アメリカの一枚舌の發表によると、自動車による災害は夜間の方が晝間よりも數多く、その死亡率も晝間の六〇パーセントに過ぎる。但しこの比率は絕對數から算出したものでなく、夜間の運轉車數が晝間の二〇パーセントに過ぎないのだから、頗る高いものとなる。この原因は何であるか、技師はこれを照明の不充分に歸してゐる。

蜜蜂大いに戰ふ

近代戰に現はれた新奇略

これは世界大戰中にタンガンイカ、で敵軍の眼が覺めるほどの活躍をしたといふ珍らしい話である——英國の「スコチクシュ・ビーキーパー」誌の傳ふる所

英國の軍隊の一隊がタンガンイカの佛領に殺虫劑と繃帶とを補給せんとした際の出來事である

人の妻を何時までも何かの方法で殺へておきたいといふ願ひは遂に實現されなかつたのであります。昔の人は實現の方法が出來ませんでしたが、今日に於ては、それを行ふ方法が出來ますし、又實際に於ても、それを行ふ方法が出來ませんでした。

さて、科學の發達は驚くべきものがありましたが、殊に十七、八世紀の頃に於ては、それは切り抜いた紙に色をつけて、白い白紙に貼りつけたりして、實に美しい人の顏を作つたりしたものでありました。

それは單に平面的のものに過ぎませんが、それは數ひくらべるものでなく、實に美しいものでありました。

それから、その後に於ては、それは立體的のものに變つて來ました。

それは單に平面的のものに過ぎませんが、それは數ひくらべるものでなく、實に美しいものでありました。

それから、その後に於ては、それは立體的のものに變つて來ました。

それは單に平面的のものに過ぎませんが、それは數ひくらべるものでなく、實に美しいものでありました。

それから、その後に於ては、それは立體的のものに變つて來ました。

寫眞を應用して シルエットを

P

Q

R

寫眞さへ用意すれば、誰でも容易に出來ますから、ぜひ御試みになつて下さい。

革新政治の前途

政治革新の焦點・蠟山政道
革新政治家論・山浦貫一
近衞内閣の革新性・丸山幹治

隨所隨感・武者小路公共

續創作餘談・志賀直哉

日本の世界的問題

日本現時の世界政策・W・H・チェンバレン
支那事變觀・パアルSバック
太平洋戰爭・デンリンガー
スターリン批判・トロツキー

新聞の貧困・原奎

回教問題と世界回教徒の現狀……今岡十一郎

戰場視察行・原守

滿洲農業移民に關する二三の妄辯……永雄策郎

佛領印度支那・稻村隆一

英伊協定の重大性・尾崎行雄

俳句・短歌

カイロ會議より歸つて・永井松三

時局認識論・馬場恒吾

火を吹く隴海戰線・田中香苗

日光節約と半ドン廢止・宮澤俊義

オリンピックと萬國博・鈴木文四郎

政黨内閣の既往及將來・尾崎行雄

戰時下大衆娯樂・權田保之助

隨所隨感・武者小路公共

日本經濟に於ける農村の地位・東畑精一

支那事變の教訓と目標・吉岡文六

長期戰と我が勞働力・黒濱俊雄

日本と統制について・萩原朝太郎

革新政治の前途

政治革新の焦點・蠟山政道
革新政治家論・山浦貫一
近衞内閣の革新性・丸山幹治

續創作餘談・志賀直哉

日本の世界的問題

日本現時の世界政策・W・H・チェンバレン
支那事變觀・パアルSバック
太平洋戰爭・デンリンガー
スターリン批判・トロツキー

新聞の貧困・原奎

戰場視察行・原守